

自民党 目黒区議会議員

木村 あきひろ

区政
レポート
vol.5

2025年3月

区民センター特集

少しずつ春の訪れを感じ、目黒川の桜もまもなく咲き始めますね。
年始の区政レポートでは、目黒区民センターの建て替え事業の業者公募中止をお伝えしました。今回はその続報です。建設費高騰を受け、事業計画が再検討され、下目黒小学校と区民センターを別々に建て替える方針となっており、つつあります。詳細は裏面をご覧ください。

また、先日令和7年度の目黒区予算が発表されました。一般会計予算は前年度比9.5%増の約1,423億円と過去最大規模。歳入では、ふるさと納税の影響で特別区税が減少しましたが、雇用・所得環境の改善で給与収入が増え、約31億円の税収増となりました。これにより、教育・福祉・子育て支援・都市インフラ整備等に投資が可能になります。一方で、財政の健全性を保ち、持続可能な行政運営が求められます。区民の税金が適切に活用されるよう、引き続きしっかりチェックし、必要な施策へ分配されるように努めてまいります。

区政は皆さまの生活に直結する大切なものです。目黒区をより住みやすくするため、ぜひご意見・ご要望をお聞かせください。日々の生活で感じる「もっとこうしてほしい!」という声をぜひお寄せください。これからも目黒区の発展と、区民が安心して暮らせる環境づくりに全力で取り組んでまいります。

目黒区議会議員 木村あきひろ

目黒区 令和7年度 予算1,423億4,036万円 ※一部をピックアップしています。

トイレトラックの導入

健康被害や災害関連死を防ぐ上で重要なトイレ対策の充実を目的にトイレトラックを導入します。

防犯カメラ・私道防犯灯・商店街街路灯の電気料金補助

地域の安全・安心なまちづくりを進めるため、防犯に関わる設備等の電気料金について、値上がり分を上乗せして補助します。

妊娠期から出産・子育て期にわたる切れ目のない支援

妊娠前	妊娠期	出産・産後	幼児期
	ゆりかご・めぐろ (妊婦面接・妊娠後期アンケート及び面接)	産後ケア事業、新生児訪問、多胎児家庭支援事業等	
特定不妊治療 (先進医療) 助成	出産・子育て応援事業 妊婦のための支援給付	新生児誕生祝金	ファーストバースデー サポート
先進医療に係る 費用を一部助成	育児パッケージ 1万円相当額 を配布、妊婦に 5万円を支給	妊娠している子の人数 ×5万円を支給	区独自の 2 万円 の祝い金
			1 歳頃の 6～8 万円 相当額を支援

子ども・若者社会参画プロジェクト

子どもの意見を区政に反映するため、SNS アンケートによるモニター制度を導入し、若者が区政やまちづくりを考える場を設けます。



たばこを吸う人と吸わない人が共存できる環境の整備

まちの環境美化と受動喫煙防止のため、公衆喫煙所の増設を進め、駅周辺を中心に指定喫煙所の整備・維持管理・改修を支援し、路上喫煙禁止の実現を目指します。

プロフィール

平成3年11月19日目黒区生まれ、目黒区育ち。目黒区立下目黒小学校、目黒区立第三中学校(現大島中学校)を卒業後、アメリカ・カナダの高校に通う。その後、埼玉大学教養学部に進学。在学中は中国人民大学に留学。卒業後はAIG損害保険株式会社、PwCあらた有限責任監査法人で勤務。令和2年から衆議院議員辻清人事務所(東京2区)で公設秘書を勤める。令和5年4月目黒区議会議員選挙にて初当選。

主な役職

令和5年度 所属委員会等
・企画総務委員会 ・区有施設等調査特別委員会
・自民党目黒区議団会計
令和6年度 所属委員会等
・文教・子ども委員会 副委員長



Topics

目黒区民センター等整備・運営事業の進捗について

目黒区は、老朽化した目黒区民センターと下目黒小学校の建て替えを進めるため、PFI方式を採用し、2024年7月に約399億円の予算で事業者公募を開始しました。しかし、10月の競争的対話で区の予算と事業者見積りに約94億円の乖離が判明し、事業公募の中止を決定したところです。

その後の再算定・財政影響の検証により、財政負担が過大と判断し、事業を中止しました。現在は、令和7～8年度の「区有施設見直し方針・計画」の改定と並行し、機能融合・複合化や区有資産の活用を検討し、令和9年以降に持続可能な施設整備を進めていく予定です。

下目黒小学校については、児童への影響や仮校舎の整備スケジュールを考慮し、区民センターとは別枠で進める可能性が高いことが示されました。これにより、学校施設更新の遅れを防ぎながら、整備計画の整合性を確保していきたいと考えています。

また、歳出削減や施設管理の見直しも不可欠となっています。税制改正やふるさと納税、103万円の壁問題等の歳入の不透明性を踏まえ、事務事業の見直しや区有資産の効率活用を進め、行財政改革をしっかりと行っていきます。区民の皆さんにとって本当に必要な施設整備を実現できるよう、責任を持って取り組んでいく決意です。特に、透明性のある議論と情報提供を重視し、区民の皆さんが納得できる形で事業を進めていきたいです。

これからも皆さまのご意見を真摯に受け止め、目黒区の未来を共に創るための取り組みを続けていきます。どんな小さなことでも構いませんので、ご意見やご要望がございましたら、ぜひお寄せください。皆さまの声を直接受け取り、目黒区の発展に全力で取り組んでまいります。今後の進捗について、ぜひご注目ください。



令和7年第1回目黒区議会定例会における一般質問 2025年2月20日



目黒区民センターの整備に区民の意見を反映するための取り組みについて、今後の方針は？

目黒区民センター整備では、平成30年度から区民の意見を取り入れてきましたが、十分な理解が得られていない面もあります。今後、施設機能や規模の見直しを進め、財政負担を考慮しながら、令和7～8年度の「区有施設見直し方針・計画」の改定と並行し、効果的な区民参画の手法を検討します。また、業者決定後もワークショップなどを通じて、区民と業者が直接意見交換できる機会を設ける予定です。

回答



下目黒小学校と区民センターの建て替え方針とスケジュールについて？

下目黒小学校は老朽化が進み、教育環境や避難所機能の強化が求められています。当初は区民センターと一体的に整備する計画でしたが、建設費の高騰により公募を中止し、見直しを決定しました。令和7～8年度に「区有施設見直し方針」の改定を進め、令和9年度以降の具体化を目指します。小学校については影響を最小限に抑えるため、単独での先行整備も検討し、令和11年度から解体予定。仮校舎移転の詳細スケジュールは、来年度早い時期に示せるよう進めます。

回答



目黒区民センター等整備・運営事業の情報発信と進捗周知について？

これまでワークショップやSNS、区報で情報発信を行ってきましたが、周知不足の指摘もあります。今後、広報手法を強化し、他自治体の事例を参考に事業を見直します。令和6年2月以降、「めぐろかがやきプロジェクト」の進捗を区報で定期的に周知し、事業者決定後も継続して情報を発信や様々な媒体を活用し、区民に分かりやすく伝えていきます。

回答

木村あきひろ
事務所

住所：目黒区下目黒 2-20-15
電話 / FAX：03-6824-1991
メール：kimura@akihero.tokyo

各種等
SNS



木村あきひろの活動を
ご支援ください。
・年会費等なし ・各種ご案内
・ボランティアスタッフ募集

